

5 教員組織の状況

<保健医療学研究科 保健医療学専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授 (学長) (研究科長)	佐藤 達夫 (75)	平成25年4月	解剖学特論						
専任	教授	荒井 裕一郎 (66)	平成25年4月	薬理学特論						
専任	教授	小泉 政啓 (57)	平成25年4月	解剖学実習 人体機能形態学特論						
専任	教授	坂井 友実 (61)	平成25年4月	鍼灸研究法特論※ 鍼灸研究法演習※ 鍼灸研究法実習※ 特別研究						
専任	教授	鈴木 秀一 (50)	平成25年4月	外傷学特論 女性医療学特論※	専任	教授	川嶋 朗 (57)	平成27年4月	女性医療学特論※	学内審議の結果「女性医療学特論」の授業内容の変更に伴い、平成27年4月1日より専任教授川嶋朗に担当変更(27)
										特別研究
専任	教授	関 寛之 (71)	平成25年4月	リハビリテーション医学特論 特別研究					廃止	体調不良により、平成26年3月31日付で辞任をしたことをうけ、廃止(26)
専任	教授	高倉 伸有 (56)	平成25年4月	鍼灸研究法特論※ 特別研究					鍼灸研究法演習※ 鍼灸研究法実習※	平成25年1月教員審査済(25)
専任	教授	高野 一夫 (65)	平成25年4月	生理学特論※ 生理学実習						
専任	教授	田中 滋城 (61)	平成25年4月	健康管理学特論 女性医療学特論※	専任	教授	川嶋 朗 (57)	平成27年4月	女性医療学特論※	学内審議の結果「女性医療学特論」の授業内容の変更に伴い、平成27年4月1日より専任教授川嶋朗に担当変更(27)
										特別研究
					専任	教授	本間 生夫 (67)	平成27年4月	鍼灸研究法特論※ 鍼灸研究法演習※ 鍼灸研究法実習※ 特別研究	学内審査の結果、平成27年4月1日より「鍼灸研究法特論」「鍼灸研究法演習」「鍼灸研究法実習」「特別研究」を担当(27)
専任	教授	寺井 政憲 (42)	平成25年4月	免疫病理学特論					特別研究	学内審査の結果、平成27年4月1日より「特別研究」を追加(27)
専任	教授	成瀬 秀夫 (62)	平成25年4月	基礎柔道整復学特論※ 臨床柔道整復学演習※ 応用柔道整復学演習※ 特別研究						
専任	教授	橋本 昇 (65)	平成25年4月	基礎柔道整復学特論※ 臨床柔道整復学演習※ 応用柔道整復学演習※ 特別研究						
専任	教授	安野 富美子 (56)	平成25年4月	鍼灸研究法特論※ 鍼灸研究法演習※ 鍼灸研究法実習※ 特別研究						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	柚木 脩 (68)	平成25年4月	基礎柔道整復学特論※ 臨床柔道整復学演習※ 応用柔道整復学演習※ 特別研究	兼任	講師	柚木 脩 (70)	平成27年4月	基礎柔道整復学特論※ 臨床柔道整復学演習※ 応用柔道整復学演習※	一身上の都合により、平成27年3月31日付で辞任。専任教授 柚木脩担当の「基礎柔道整復学特論」「臨床柔道整復学演習」「応用柔道整復学演習」は兼任講師として担当(27)
専任	准教授	木村 友昭 (44)	平成25年4月	鍼灸研究法特論※ 鍼灸研究法演習※ 鍼灸研究法実習※ 特別研究						
専任	准教授	久米 信好 (43)	平成25年4月	基礎柔道整復学特論※ 臨床柔道整復学演習※ 応用柔道整復学演習※ 特別研究						
専任	准教授	高橋 康輝 (38)	平成25年4月	保健医療学研究法 健康科学特論 基礎柔道整復学特論※ 臨床柔道整復学演習※ 応用柔道整復学演習※ 特別研究						
専任	准教授	東郷 俊宏 (46)	平成25年4月	伝統医学特論					特別研究	学内審査の結果、平成27年4月1日より「特別研究」を追加(27)
専任	准教授	水出 靖 (46)	平成25年4月	鍼灸研究法特論※					鍼灸研究法演習※ 鍼灸研究法実習※	平成25年1月教員審査済(25)
専任	講師	古賀 義久 (63)	平成25年4月	鍼灸研究法特論※ 鍼灸研究法演習※ 鍼灸研究法実習※ 特別研究	専任	准教授	古賀 義久 (65)	平成27年4月	鍼灸研究法特論※ 鍼灸研究法演習※ 鍼灸研究法実習※ 特別研究	学内審査の結果、平成27年4月1日より准教授に昇格(27)
専任	講師	小山 浩司 (38)	平成25年4月	基礎柔道整復学特論※ 臨床柔道整復学演習※ 応用柔道整復学演習※ 特別研究	専任	准教授	小山 浩司 (40)	平成27年4月	基礎柔道整復学特論※ 臨床柔道整復学演習※ 応用柔道整復学演習※ 特別研究	学内審査の結果、平成27年4月1日より准教授に昇格(27)
専任	講師	櫻井 敬晋 (37)	平成25年4月	基礎柔道整復学特論※ 臨床柔道整復学演習※ 応用柔道整復学演習※ 特別研究	専任	准教授	櫻井 敬晋 (39)	平成27年4月	基礎柔道整復学特論※ 臨床柔道整復学演習※ 応用柔道整復学演習※ 特別研究	学内審査の結果、平成27年4月1日より准教授に昇格(27)
専任	助教	矢嵐 裕義 (44)	平成25年4月	鍼灸研究法特論※ 鍼灸研究法演習※ 鍼灸研究法実習※ 特別研究	専任	講師	矢嵐 裕義 (46)	平成27年4月	鍼灸研究法特論※ 鍼灸研究法演習※ 鍼灸研究法実習※ 特別研究	学内審査の結果、平成27年4月1日より講師に昇格(27)
					専任	講師	菅原 正秋 (42)	平成27年4月	鍼灸研究法特論※ 鍼灸研究法演習※ 鍼灸研究法実習※ 特別研究	学内審査の結果、平成27年4月1日より「鍼灸研究法特論」「鍼灸研究法演習」「鍼灸研究法実習」「特別研究」を担当(27)
					専任	講師	笹木 正悟 (32)	平成27年4月	特別研究	学内審査の結果、平成27年4月1日より「特別研究」を担当(27)
兼任	講師	鬼丸 洋 (60)	平成25年4月	生理学特論※						
兼任	講師	加藤 総夫 (54)	平成25年4月	生理学特論※						
兼任	講師	町田 稔文 (43)	平成25年4月	女性医療学特論※						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成27年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
11	3	14	19 10	0 3	19 13				
(11)	(3)	(14)	$\left[\begin{array}{c} 8 \\ \Delta 1 \end{array} \right]$	$\left[\begin{array}{c} \Delta 3 \\ 0 \end{array} \right]$	$\left[\begin{array}{c} 6 \\ 0 \end{array} \right]$	65歳	6名	65歳	5名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。
 - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	関 寛之	体調不良により、平成26年3月31日付で辞任。(26)
2	教授	袖木 脩	一身上の都合により、平成27年3月31日付で辞任。(27)
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

1	関 寛之の担当科目については、廃止としたため、専任教員の交代の必要はない。 また、研究指導教員より学生にその旨、周知したところ、平成25年・26年度共、履修希望者がいなかった為、授業に支障はないと判断した。(26)
2	袖木 脩の担当の「基礎柔道整復学特論」「臨床柔道整復学演習」「応用柔道整復学演習」3科目については、引き続き、兼任講師として授業を担当する予定であるため、授業に支障はない。また、学生には研究指導教員よりその旨周知をしている。(27)

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学研究科 看護学専攻（修士課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専任	教授	金井Pak 雅子 (金井 雅子) (61)	平成25年4月	看護管理学特論Ⅰ 看護管理学特論Ⅱ 看護管理学特論Ⅲ 看護管理学演習Ⅰ 看護管理学演習Ⅱ 特別研究					看護管理学特論Ⅰ※	学内審議の結果、平成27年4月1日より授業内容の充実を図る為、兼任講師河野秀一とオムニバス形式で授業を担当する。(27)
専任	教授	金井 一薫 (小南 きよみ) (65)	平成25年4月	基礎看護学特論Ⅰ 基礎看護学特論Ⅱ 基礎看護学特論Ⅳ 基礎看護学演習 特別研究	専任	教授	神原 裕子 (58)	平成27年4月	基礎看護学特論Ⅰ 基礎看護学特論Ⅱ 基礎看護学特論Ⅳ 基礎看護学演習 特別研究	平成27年3月31日付で専任教授 金井一薫が一身上の都合により辞任。学内審査の結果、専任教授 神原 裕子が担当。(27)
専任	教授	島田 将夫 (森戸 将夫) (52)	平成25年4月	実用英語特論						
専任	教授	城ヶ端 初子 (67)	平成25年4月	看護理論特論	専任	教授	金井Pak雅子 (63)	平成27年4月	看護理論特論※	平成27年3月31日付で専任教授 城ヶ端 初子が一身上の都合により辞任。学内審査の結果、専任教授 金井Pak雅子、高橋正子、掛本知里がオムニバス形式で授業を担当。(27)
				基礎看護学特論Ⅲ※	専任	講師	田仲 珠恵 (43)			
				基礎看護学演習 特別研究	基礎看護学特論Ⅲ※ 基礎看護学演習 特別研究					
専任	教授	高橋 正子 (61)	平成25年4月	慢性看護学特論Ⅰ 慢性看護学特論Ⅱ 慢性看護学特論Ⅲ 慢性看護学演習Ⅰ 慢性看護学演習Ⅱ 特別研究						
専任	教授	林 洋 (59)	平成25年4月	疾患学特論 慢性看護学特論Ⅲ※ 特別研究						
専任	教授	前田 樹海 (48)	平成25年4月	看護研究特論 看護情報学特論Ⅰ 看護情報学特論Ⅱ 看護情報学特論Ⅲ 看護情報学演習Ⅰ 看護情報学演習Ⅱ 看護情報学演習Ⅲ 特別研究						
専任	准教授	大沼 幸子 (58)	平成25年4月	慢性看護学特論Ⅲ※ 特別研究	専任	教授	大沼 幸子 (60)	平成27年4月	慢性看護学特論Ⅲ※ 特別研究	学内審査の結果、平成27年4月1日より教授へ昇格。(27)
専任	准教授	掛本 知里 (49)	平成25年4月	地域看護学特論Ⅰ※ 地域看護学特論Ⅱ※ 地域看護学演習Ⅰ※ 地域看護学演習Ⅱ※ 特別研究	専任	教授	掛本 知里 (51)	平成27年4月	地域看護学特論Ⅰ※ 地域看護学特論Ⅱ※ 地域看護学演習Ⅰ※ 地域看護学演習Ⅱ※ 特別研究	学内審査の結果、平成27年4月1日より教授へ昇格。(27)

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専任	准教授	梶原 祥子 (54)	平成25年4月	母子看護学特論Ⅰ※ 母子看護学特論Ⅱ 母子看護学演習Ⅰ 特別研究			後任未定			平成27年3月31日付、梶原祥子が一身上の都合により辞任。本年度は、履修希望者がいなかったため授業に支障はないが、後任教員の補充に努める。(27)
専任	准教授	川上 嘉明 (51)	平成25年4月	基礎看護学特論Ⅲ※ 特別研究						
専任	准教授	河内 しのぶ (61)	平成25年4月	母子看護学特論Ⅰ※ 母子看護学特論Ⅲ 母子看護学特論Ⅲ 特別研究	専任	講師	三木 祐子 (49)	平成26年4月	母子看護学特論Ⅰ※	平成25年3月31日付、河内しのぶ一身上の都合により辞任。後任の専任教員については本年度中に教員審査に申請予定。(25)
							後任未定 後任未定		母子看護学特論Ⅲ 母子看護学特論Ⅲ	(別紙1)(26)
専任	准教授	山下 雅子 (49)	平成25年4月	臨床心理学特論 看護情報学特論Ⅱ 看護情報学演習Ⅱ 特別研究						
専任	講師	吉川 悦子 (39)	平成25年4月	地域看護学特論Ⅰ※ 地域看護学特論Ⅱ※ 地域看護学演習Ⅰ※ 地域看護学演習Ⅱ※ 特別研究						
専任			平成25年4月	母子看護学特論Ⅲ 特別研究			後任未定			専任教員が、教員審査において、「不可」専任補充の判定をうけたが、本年度履修希望者がいなかったため、未開講となったので、授業には支障がない。 ただし、専任の教員補充については、本年度中に教員審査に申請する予定である。(25) 「母子看護学特論Ⅲ」「特別研究」において、2名の専任補充をもとめられている中、1名は専任補充をできたが、もう1名の専任候補者の選定が難航している現状がある。本年度は履修予定者がいなかったため、未開講となったので、授業に支障はないが、引き続き、後任候補者を探し、確保に努める(26) 後任未定であるが、本年度は履修希望者がいなかったため、授業に支障はない。引き続き後任候補者を探し確保に努める(27)
専任			平成25年4月	慢性看護学演習Ⅰ 慢性看護学演習Ⅱ 特別研究	専任	講師	後任未定 杉田 和代 (55)	平成26年4月	慢性看護学演習Ⅰ 慢性看護学演習Ⅱ	専任教員が、教員審査において、「不可」専任補充の判定をうけたが、本年度履修希望者がいなかったため、未開講となったので、授業には支障がない。 ただし、専任の教員補充については、本年度中に教員審査に申請する予定である。(25) 別紙1(26)

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専任			平成25年4月	慢性看護学演習Ⅰ 慢性看護学演習Ⅱ 特別研究			後任未定			専任教員が、教員審査において、「不可」専任補充の判定をうけたが、本年度履修希望者がいなかったため、未開講となったので、授業には支障がない。 ただし、専任の教員補充については、本年度中に教員審査に申請する予定である。(25) 慢性看護学領域において、2名の専任補充をもとめられている中、1名は専任補充をできたが、もう1名の専任候補者の選定が難航している現状がある。本年度は履修予定者がいなかったため、未開講となった為、授業に支障はないが、引き続き、後任候補者を探し、確保に努める(26)
兼任	教授	小泉 政啓 (57)	平成25年4月	解剖学実習						
兼任	教授 (学長) <small>(研究科長)</small>	佐藤 達夫 (75)	平成25年4月	解剖学特論						
兼任	教授	高野 一夫 (65)	平成25年4月	生理学特論※						
兼任	講師	鬼丸 洋 (60)	平成25年4月	生理学特論※						
兼任	講師	加藤 総夫 (54)	平成25年4月	生理学特論※						
兼任	講師	志自岐 康子 (65)	平成25年4月	看護倫理学特論						
兼任	講師	安酸 史子 (57)	平成25年4月	看護教育学特論	専任	教授	神原 裕子 (58)	平成27年4月	看護教育学特論	平成27年3月31日付で兼任講師 安酸史子の辞任により、学内審査の結果、専任教授 神原裕子が平成27年4月1日より担当。(27)
					兼任	講師	河野 秀一 (55)	平成27年4月	看護管理学特論Ⅰ※	授業内容の充実を図る為、兼任講師 河野秀一 を「看護管理学特論Ⅰ」に追加で配置する。授業は専任教員 金井Pak雅子とのオムニバス形式とする。(27)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
7	9	16	6 7	6	12 13				
(7)	(5)	(12)	[Δ1]	[Δ3]	[Δ4 Δ3]	65歳	0名	65歳	2名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。
 - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	河内 しのぶ	一身上の都合により、平成25年3月31日付で辞任。(25)
2	准教授	梶原 祥子	一身上の都合により、平成27年3月31日付で辞任。(27)
3	教授	城ヶ端 初子	一身上の都合により、平成27年3月31日付で辞任。(27)

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>1. 准教授 河内しのぶが担当する科目については、本年度履修希望者がいなかったため、未開講となったので授業には支障がない。また、後任の専任教員については本年度中に教員審査に申請する予定である。(25)</p> <p>2. 准教授 梶原祥子が担当する科目については、本年度履修希望者がいなかったため、未開講となったので授業に支障がない。また、後任の専任教員については、早急に学内審査を経て、決定をする予定である(27)</p> <p>3. 教授 城ヶ端初子が担当する科目については、後任の専任教員神原裕子を補充した為、授業に支障がない。学生への周知については、各学生を指導する研究指導教員より周知をしている。(27)</p>
--

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学研究科 看護学専攻（修士課程）>

専任教員 河内しのぶが、一身上の都合により平成25年3月31日付で辞職をしたことをうけ、後任候補として平成25年7月の教員審査において、専任教員 三木祐子の審査申請をした結果、下記の判定を受けた。

【審査申請授業科目】

- ・「母子看護学特論Ⅰ」 M可
- ・「母子看護学特論Ⅲ」 不可（業績不足） 兼任補充
- ・「母子看護学演習Ⅱ」 不可（業績不足） 兼任補充
- ・「特別研究」 M合

上記の判定結果を受け現在、「母子看護学特論Ⅲ」「母子看護学演習Ⅱ」の兼任教員を探しているが、兼任教員が決まっていない状況である。

母子看護学領域に関して、本年度は履修希望者がいなかったために未開講となったので、平成26年度の授業に支障はないが、引き続き後任候補者の確保に努める。(26)

設置認可時の留意事項を受け、平成25年11月の教員審査において、専任教員候補者 杉田和代 の審査申請をした結果、下記の判定を受け、平成26年4月より「慢性看護学演習Ⅰ」「慢性看護学演習Ⅱ」の授業を担当する。(26)

【審査申請授業科目】

- ・「慢性看護学演習Ⅰ」 M可
- ・「慢性看護学演習Ⅱ」 M可
- ・「特別研究」 不可 業績不足 （専任補充必要なし）